

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話： 03-3541-5151 内線番号 77-938

担当者の所属・氏名 臨床研修部 村田 友美

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修部 村田 友美

乳腺外科 林 直輝

予防医療センター 木村 武志

トリプルネガティブ乳癌の方を対象とした、 術前化学療法に関する研究

1.研究の対象

2001年1月から2014年12月の期間に、当院で術前化学療法としてタキサン系およびアンスラサイクリン系薬剤を使用したトリプルネガティブ乳癌の方。

2.研究の目的・方法

トリプルネガティブ乳癌は、エストロゲン受容体、プロゲステロン受容体、ヒト上皮増殖因子受容体2型 (HER2) の全てが陰性である乳癌のサブタイプの一つです。トリプルネガティブ乳癌で術前化学療法としてタキサン系もしくはアンスラサイクリン系薬剤の投与を行った方のうち、一部に投与中に病状が進行してしまう方がいます。本研究では病状進行となるリスク因子および予後を検討することを目的としています。

これらの薬剤が無効であることをあらかじめ予測できれば、不要な化学療法を省略することができ、代わりとなる治療を考慮するなど、今後の新たな治療戦略を進展させる可能性があります。

なお、この調査では診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2019年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

臨床病理学的因子（年齢、化学療法前後の臨床病期、腫瘍径、腋窩リンパ節転移の有無、核グレード、組織型、Ki 67、リンパ管侵襲、化学療法治療効果など）、画像所見（マンモグラフィ、超音波、MRI）、術前化学療法後の無再発生存期間・全生存期間 等